

科目・コース（ユニット）名： 医療入門Ⅰ（プライマリ・ヘルス・ケアと地域医療）
英語名称：Primary Health Care and Community Medicine

【担当責任者】 菅家智史

【連絡先】 総合内科・総合診療学講座 gim-fm@fmu.ac.jp

【開講年次】 4年, 【学期】 前期, 【必修／選択】 必修

【授業形態】 講義

【概要】

プライマリ・ヘルス・ケア（PHC）は、地域住民の多様なニーズに応え、健康の社会的決定要因にも働きかける包括的な健康戦略です。その実践を支える学問体系が「家庭医療学」であり、その専門家が日本で2018年度より養成が始まった「総合診療医」です。本講義では、地域医療の基盤となる家庭医療学の原理を学び、PHCを具現化する手法を系統的に概説します。将来どの専門科を志す学生にとっても、この視点は良質な医療を実践する重要な基盤となります。

【学習目標】

1. かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、その基本原則を説明できる。
2. 家庭医療学の原理である生物・心理・社会（BPS）モデルや、人々の暮らしの背景にある文化的・社会的な文脈が医療提供において重要であることを説明できる。
3. 患者中心の医療の方法を理解し、患者の価値観を尊重した共同意思決定（SDM）について説明できる。
4. 専門領域に限定されない臓器横断的な診療の重要性を説明できる。
5. 根拠に基づいた医療（EBM）の5つのステップを列挙できる。
6. 加齢に伴う薬物動態の変化、高齢者に対する薬物療法の注意点を説明でき、ポリファーマシーの是正等適切な介入が実施できる。
7. 地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。
8. 地域社会（離島・へき地を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。
9. 在宅医療の現状と課題、人生の最終段階における医療、看取りの在り方を概説できる。
10. 思春期から老年期に至る各ライフステージの身体・精神・社会的特徴を概説できる。
11. 生活習慣病における患者支援（自律性支援）や保健指導を概説できる。
12. 健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。
13. 高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。
14. 高齢者の退院支援と介護保険制度を説明できる。
15. 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における保健・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。
16. 社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、国際化）と健康・疾病との関係（健康の社

会的決定要因(social determinant of health))を概説できる。

17. 医療活動と気候変動との関連性（プラネタリーヘルス）を理解し、将来の医療者としての役割を考察できる。

【教科書】

プライマリ・ケアの理論と実践（日本医事新報社）

【参考書】

1. マクウィニー家庭医療学 上巻・下巻（ぱーそん書房）
2. 医療大転換-日本のプライマリ・ケア革命-（ちくま新書）
3. 患者中心の医療の方法 原著第3版（羊土社）
4. 家族志向のプライマリ・ケア（丸善出版）
5. 診療ガイドラインが教えてくれないこともある（南山堂）
6. スタンダード家庭医療マニュアル（永井書店）

【成績評価方法】

出席については規程に基づく。

- 1 コマにつき出席＋課題（小テスト）で10点満点（出席と課題の配点は各担当教員による）
 - 14 コマ×10点＝140点満点となり、6割（84点）以上で合格とする。
- 詳細については初回講義の冒頭で教員より説明する。

【学習上の注意事項】

5月22日（金）Ⅰ「臓器横断的な診療」の事前学習について

本講義では薬理学や臓器別講義で学んだ知識を活用して、ポリファーマシー事例の病態整理を行う内容を含みます。

従って、以下12種類の薬剤の副作用と相互作用、および腎排泄かについて復習してから本講義に臨んでください。

- ①シタグリプチン（DPP-Ⅳ阻害薬）
- ②メトホルミン（ビグアナイド薬）
- ③ピオグリタゾン（チアゾリジン系薬）
- ④オルメサルタン/アゼルニジピン（ARB+Ca-blocker）
- ⑤ロスバスタチン（スタチン）
- ⑥アゾセミド（ループ利尿薬）
- ⑦トリクロルメチアジド（サイアザイド系利尿剤）
- ⑧スピロラクトン（抗アルドステロン薬）
- ⑨クエン酸第一鉄（鉄剤）
- ⑩アロプリノール（尿酸生成抑制薬）

⑪ベンズブロマロン（尿酸排泄促進薬）

⑫ロキソプロフェン（NSAIDs）

【垂直的統合授業の実施内容】

「医療資源に応じたプライマリ・ケア」の講義では、非常勤講師が臨床医学的側面と社会医学的側面を交えた統合的授業を行う。

【水平的統合授業の実施内容】

「老年期のプライマリ・ケア」の講義では、生活相談員を非常勤講師として迎え、他職種から視点を交えた統合的授業を行う。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

「プラネタリーヘルス」の講義では、医療活動と気候変動との関連性について学ぶ。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2026/5/21	木	1	（講）総合診療医・家庭医	菅家智史	
2	2026/5/21	木	2	（講）患者中心の医療と生物・心理・社会モデル	菅家智史	
3	2026/5/21	木	3	（講）EBM	菅藤賢治	
4	2026/5/22	金	1	（講）臓器横断的な診療	中村光輝	
5	2026/5/28	木	1	（講）地域におけるプライマリ・ケア	福田國悠	
6	2026/5/28	木	2	（講）医療資源に応じたプライマリ・ケア	森冬人	
7	2026/5/28	木	3	（講）ライフサイクルと家族志向ケア	森冬人	
8	2026/5/29	金	1	（講）在宅におけるプライマリ・ケア	中村光輝	
9	2026/6/4	木	1	（講）思春期のプライマリ・ケア	菅藤佳奈子	
10	2026/6/4	木	2	（講）成人期のプライマリ・ケア	遠藤芽依	
11	2026/6/4	木	3	（講）老年期のプライマリ・ケア	遠藤芽依	

12	2026/6/11	木	1	(講) 健康の社会的決定要因とアドボカシー	豊田喜弘	
13	2026/6/11	木	2	(講) プラネタリーヘルス	豊田喜弘	
14	2026/6/11	木	3	(講) 家庭医療学と文化人類学	渡邊聡子 前野有咲	

【担当教員】

教員氏名	職	所属	連絡先
菅家智史	講師	総合内科・総合診療学講座	6258
中村光輝	助教	医療人育成・支援センター	2607
福田國悠	助手	総合内科・総合診療学講座	2931
渡邊聡子	非常勤講師	かしま病院総合診療科	2931
菅藤賢治	非常勤講師	大原総合病院総合診療科	2931
菅藤佳奈子	非常勤講師	保原中央クリニック家庭医療科	2931
森冬人	非常勤講師	喜多方市地域・家庭医療センター	2931
豊田喜弘	非常勤講師	悠翔会在宅クリニック流山	2931
遠藤芽依	非常勤講師	よりみち家庭医療クリニック	2931
早坂史恵	非常勤講師	介護付き有料老人ホーム シャローム	2931
前野有咲	非常勤講師	ヘキレキ舎	2931

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

全て。